

CSR（企業の社会的責任）

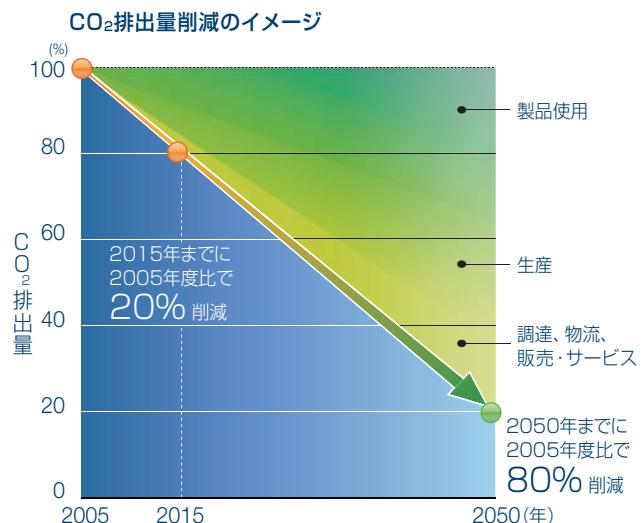
●コニカミノルタグループは、あくなき、絶え間のない技術革新によって、地球の将来に貢献する企業であり続けたいと考えています。

当社グループは、これまで環境負荷を軽減する活動を推進し、着実に成果を上げてきました。しかしながら、環境問題が加速度的に深刻化しつつある今日、長期的な視点に立ち、これまで以上に挑戦的な目標を掲げ、多角的な対策を実践していくことが不可欠と考え、2009年1月に、2050年をターゲットとする『エコビジョン2050』を策定しました。このビジョンでは、製造業に携わる企業の使命として、「地球温暖化防止」を最重要テーマと位置づけ、製品ライフサイクル（調達、生産、物流、販売・サービス、製品使用、回収）におけるCO₂排出量を2005年度比で2050年までに80%削減することを目標としています。この長期的ビジョン達成のマイルストーンとして、2015年度までに20%削減を目標とする『中期環境計画2015』を策定しました。

地球温暖化防止に貢献する原動力は、技術革新にあります。照明の未来を担うと期待されている有機ELなど、エネルギー効率を飛躍的に変える技術やエネルギー自体を作り出す技術の創出に取り組み、地球温暖化防止に貢献していきます。

当社グループの環境・CSR活動の詳細については、Webサイトをご覧ください。

環境：<http://www.konicaminolta.jp/about/csr/environment>
CSR：<http://www.konicaminolta.jp/about/csr>



知的財産

●コニカミノルタグループは、長年の事業によって培った業界優位な得意技術・差別化技術（コア技術）を「材料分野」「光学分野」「微細加工分野」「画像分野」の4つの分野において数多く保有しています。これらの多数保有するコア技術を活用することで、イメージングに関する革新的な製品・サービスを提供し事業展開しています。

当社グループでは、事業戦略と一体となった知的財産戦略に基づき、積極的な特許出願活動を行っており、2009年度の日本公開件数とPCT国際公開件数を合わせると3,645件となりました。分野別では、共通基盤技術・先端技術分野の特許公開件数の割合が全体の18%に達しており、有機EL白色発光デバイス

など今後の事業をサポートする特許出願を着実に行ってています。また、ジャンルトップを目指す重点技術分野で戦略的に出願権利化を行い、早期に有効な権利を国内外で獲得し、特許面で事業に貢献しています。

こうした戦略の結果、2009年3月31日現在、ジャンルトップの領域を有する情報機器及びオプト事業が有する特許件数は当社グループ全体の約71%を占めています。

当社グループの知的財産の詳細については、「コニカミノルタ知的財産報告書2009」をご覧ください。

http://konicaminolta.jp/about/investors/earning/intellectual_property